

令和6年度  
大野市文化財保存活用地域計画推進協議会  
会 議 録

日 時 令和6年7月19日（金）14:00～15:45  
場 所 大会議室

大野市教育委員会事務局 生涯学習・文化財保護課

出席者 ○委員 14名 委員（団体等）7名、県職委員1名、市職委員6名  
欠席者なし  
○教育委員会 教育長  
○事務局 4名

- 1 教育理念唱和
- 2 委嘱状・任命書交付
- 3 教育長あいさつ

お忙しい中お集まりいただき感謝する。

本年は、市制施行70周年であり、金森長近公生誕500年の年である。明日は、土井家つながりで、姉妹都市交流の旅として古河市から市長や議長、教育長など、45名程度の方が2日間大野に来られる。また、来年度は、古河市が市制施行70周年であり、交流を深めていきたい。金森長近公については、12月1日まで歴史博物館で特別展を開催しているので、多くの方に観覧していただきたい。

身近なことでは、昨年度、阿難祖領家区と阿難祖地頭方区の「阿難祖八坂神社の祭礼」がおおの遺産に認証された。今年度の祭礼は、7月15日に大雨の中でも、地域の小さな子どもたちも集まり、継続して開催した。

文化財の保存と活用について、本計画を進めるとともに、一人一人の市民に理解していただく支援も必要だと感じている。

大野市文化財保存活用地域計画がより良いものとなるよう、忌憚のないご意見をお願いしたい。

#### 4 会長・副会長選出

会長 高嶋 猛 委員 副会長 高田 龍佳 委員

#### 会長あいさつ

本協議会は、令和4年に作成された計画の進捗を確認いただくものである。令和12年までの計画期間の中で、前期を令和7年度までとし、計画の見直しを行う。今年度は中間の年度にあたる。

昨年度は、コロナ禍の影響もほとんどなくなり、様々な事業が実施できたことと思う。文化財に関する事業は、市の担当課だけではなく、様々な方が関わっているため、ぜひ、それぞれの立場から活発なご意見をいただきたい。

## 5 議 事

### (1) 令和5年度 措置(事業)の進捗について 資料 No. 1～3

#### <質疑>

事務局 : 令和5年9月28日に文化会館大ホールで開催した、大野市制施行70周年プレイベント「文化財を楽しむ対談会「春風亭昇太・千田嘉博 越前大野城を語る」について、事前に委員より、資料 No. 1の28「越前大野城の維持管理と活用」の取組状況及び成果に加えるようご意見をいただいたので、追加することとする。(追加資料参照)

委 員 : 越前大野城跡石垣は地震の影響で崩れたが、最近、愛媛の松山城が建つ山の一部が、大雨の後、地滑りで崩れた。亀山は大丈夫なのか。

事務局 : 越前大野城跡石垣部分については、はらみを1、2か所確認しており、今年度、まずは現状調査する方法について専門家に相談をしている。

委 員 : 資料 No. 2の<10>化石が物語る大地の歴史の No. 5「化石保護監視員によるパトロール」について「①順調」となっている。自身はパトロール員であり、人員数に比べ本市の化石産出地は広いと感じている。1か月ほど前、化石採取で和泉の産出地を訪れたときに、届出なしに採取したと思われる痕跡があった。現在の人数でのパトロールでは十分でないと感じている。化石採取の注意看板を立てると、化石の産出地であることを示すことになり、それもできない。森林組合の方や仕事で山に入る方々にも、連携して声掛けしてもらうなど、工夫できないか。

会 長 : 資料 No. 1の4「文化財の調査の実施」で事務局から説明があった、仏像神像調査結果の公表が盗難につながる可能性があることと同様に、化石産出地を知らせることも盗掘につながる可能性がある。外部の方の力も借りて、パトロールの人員不足を補う工夫を、という意見である。

事務局 : 森林組合など、日常的に山に入られる方々に、情報をいただきながら声掛け等していただけるようお願いしていきたい。

委 員 : 資料 No. 1の18「小学生の郷土芸能の体験」について、子どもたちの発表の場を作ることはとても大切だと思う。また、七間朝市の振興について、大野市はどのように考えているのかお聞きしたい。COCONOアートプレイスについて、文化協会でも、COCONOアートプレイス

で発表等を希望する方がいる。一般の方の使用を考えていただけないか。また、7月21日に文化協会主催で「民謡の祭典」を開催する。その中で、西谷もじり保存会と穴馬民謡保存会の方々は、自分たちが継承しなければという思いで踊りを披露され、発表することでモチベーションが上がる。文化協会では、市民が練習の成果を発表することが大事であると考えため、文化会館が無くなり、市民の発表の場がなくなることを危惧している。

市職委員：七間朝市の振興については、議事の（2）資料 No. 4 で説明させていただきたい。

会長：文化会館が無くなり、発表の場所等を他で確保するには時間がかかると思うが、発表する場を確保することは、伝統文化を継承する上で大切なことであるので考えていかないといけない問題である。

教育長：小学生の郷土芸能の発表会について開催に至っていない。これは、子どもたちを指導していただく保存会の方が、高齢となり継承できないというものや、コロナ禍の3～4年の間に、地域の中で継承されなくなったというものもあり、この現状の中で、無理に発表させることもできない。小学生の郷土芸能の発表会を単体ではできない現状であるので、他の行事の中で発表の機会を作るなど、規模は縮小しても開催について検討していきたい。

市職委員：C O C O N O アートプレイスでは、年4回の企画展を開催してきたが、昨年度から地域の皆さんにも参加していただける企画を作っている。C O C O N O アートプレイスでの発表を希望する方々の要望を聞きながら、企画展と企画展の合間を活用するとか、入館料を取らない土間部分のスペースを活用して展示するなど、検討していきたい。

## （2）令和6年度 文化財に関する事業について 資料 No. 4

### < 質疑 >

市職委員：昨年度まで市が支援を続け、今年度は、若者で作る七間大盛會が、七間樂市を、春から秋にかけ毎月1回、日曜日に開催することとなった。（1）でご質問のあった、七間朝市の振興について、現在、平日は2件、休日は4～6件の出店で、従来の出店数に戻っているが、後継者不足に対す

る対策については、なかなか市も打ち出せてはいない。そのような中、七間商店街の若手の取り組みに、朝市の出店者が参加を希望するなどの動きもある。朝市の出店者も含めた、商店街一体としての取り組みを、市がどう支援できるかについて、今年度、意見交換会を開催して方向性を見い出していきたい。

委員：平成大野屋の平蔵でVR動画の体験を、現在無料で実施しているが、人気があり、お金を出しても体験したいという方もいる。無料だからかもしれないが、体験者は4月から7月中旬までに、合計600人近い方が体験しており、満足度も高い。ぜひ、有料化について検討いただきたい。

市職委員：VR動画の有料化については、個別に対応させていただきたい。

会長：企画やイベントの土台となる、毎年、決まった事業が市民の生業（なりわい）にとって大切なものである。この事業が文化財的なものであれば一番良い。今後は、決まった事業以外にも、新たな市民の生業となる企画やイベントを、委員の皆様や大野市に発掘していただきたい。

委員：話を聴きながら、自分に何ができるかを考えていた。例えば、企画展「蓮光寺の寺宝」を見て善導寺でもできないか、また、小学生の伝統芸能の発表会について、発表会の場に本堂を提供し、大野の文化財や歴史に触れていただくお手伝いができないかなど、市のスケジュールの中で、自分がどう関わっていけるのかを考えた。仏像神像調査について聞き、盗難の恐れや人手不足もあって、お寺をどこまでオープンにするかについて迷いがあり、文化財を生かしたいが生かしきれないもどかしさがある。土井家の墓を、雪囲い等、労力をかけて管理しているが、表立ってアピールされていないとも感じている。

## < 総括 >

### 福井県教育庁 生涯学習・文化財課

県職委員：多数の事業について取り組んでいることは評価されていいと考える。その中で2点申し上げたい。1点目は、魚類について、イトヨの外にミナミアカヒレタビラにも注目していただきたい。2点目は、県指定史跡「越前大野城跡」について、大変活用されていると思うが、今後は、個別の保存活用計画を作成した上で、保護と活用を進めていくことが大切では

ないかと考える。

### (3) その他 特になし

## 6 その他 特になし

## 7 閉会 (副会長)

活発なご意見、感謝する。

全体として、このような多くの活動を行っていることをどう発信していくかが課題だと感じた。特に、若い世代の方々に、わかりやすく伝えたり、興味のある方に絞って、アナログ、デジタル両方で発信するなど、工夫も必要であると感じた。

商工会議所では、城まつりも57回を数え、後継者について苦慮する部分もあるが、「おおの遺産」と言っていただけのような行事になるように頑張っていきたいと考えている。

本日は、お疲れ様でした。